

一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会

2023 年度第 2 回理事会議事録

開催日時： 2024 年 5 月 18 日（土） 15：00 より 17：00

開催場所： ステーションコンファレンス東京 「402CD」会議室
（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー）

出席理事（五十音順）：

赤間 高雄 大森 豪 荻野 雅宏 小熊 祐子 勝川 史憲
高橋 敏明 武田 友孝 津下 一代 津田 英一 土肥美智子
鳥居 俊 中川 泰彰 中嶋 耕平 藤谷 博人 細井 雅之
牧田 茂 松田 貴雄 山澤 文裕 山下 敏彦

出席監事： 小松 裕

議事録作成者： 山澤 文裕

議長： 赤間 高雄

審議に先立ち、理事長（代表理事）山澤 文裕が開会について挨拶した。
議案及び決議事項は以下のとおりである。

議事の経過の要領及びその結果

（1）議長選任

理事長（代表理事）山澤 文裕は、開会に当たり、議長として理事 赤間 高雄を指名したところ、同人は直ちに議長就任を承諾した。

（2）定足数の確認

議長は本日の出席が理事 19 名であり、理事総数 23 名中 19 名の出席を得て、定款 35 条第 1 項の「理事の過半数が出席」していることにより理事会が有効に成立したことを報告した。

理事長（代表理事）山澤 文裕および副理事長（業務執行理事）赤間 高雄が 2023 年 11 月 10 日から 2024 年 5 月 17 日までの職務執行状況報告を行った。

（3）議案の審議状況及び議決結果等

審議事項

第 1 号議案 今年度の委員会と委員長について

理事長 山澤 文裕は、今年度の委員会の構成と委員長について報告を行った。倫理・COI・将来構想委員会の新設が承認された。

第2号議案 代議員選挙について

議長は、代議員選挙についてスケジュールおよびそれに関する定款や規則について確認した。選挙管理委員会について、理事長の推薦した藤谷博人委員長および選任した構成委員が満場異議なく承認された。理事会終了後開催の選挙管理委員会にて詳細を決定することとする。

第3号議案 名誉会員候補について

議長は、理事長が推薦した木村 穰先生、原 邦夫先生について承認を求めたところ、満場異議なく承認された。定時総会にて承認いただくこととする。

報告事項

2023年度中間報告

1. 2023年度 学会員数中間報告

議長は資料に基づき2023年10月1日から2024年4月18日までの学会員数について報告した。正会員・准会員ともに微減となっている。学術集会の演題登録が進むに連れて、会員数は増加すると想定される。年会費未納者は昨年度と同程度となっており、7月に事務局より再請求をすることとする。

2. 2023年度中間収支報告

議長は、財務委員会委員長 理事 帖佐 悦男の代理として、資料に基づき2023年10月1日から2024年4月18日までの収支について報告した。第34回学術集会の収支については、第34回学術集会会長 理事 勝川 史憲より約2,000万円の赤字収支となったことが報告された。2023年度の収支決算については11月の総会で承認を頂けるように、今後の学術集会のありかた等を委員長会議（旧称：総務委員会）で検討していくことが承認された。

各委員会審議・報告事項

総務委員会

委員会規則、旅費規則改定について

総務委員会委員長 理事 赤間 高雄は、定款制定の際に作成した委員会規則が学会の現状に対応できていないため、対応する修正案を提示し、旅費規則の改定と共に承認された。10月1日の新年度より適用する。現在の総務委員会は委員長会議と改称する。

財務委員会

委員会報告

議長は、財務委員会委員長 理事 帖佐 悦男の代理として、委員会報告を中間収支報告として行ったことを報告した。

編集委員会

1. 学会誌発行費用について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、学会誌の支出を軽減するため学会誌のオンライン化を提案した。会員への周知を1年ほど掛けて行い、オンライン化を進めていくことが承認された。学術集会の抄録集についてもオンライン化を進めることが承認された。

2. 学会誌投稿状況について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、オンライン投稿システム導入後の2021年度と2022年度、および2023年度の投稿総数と査読状況について報告した。2023年度については、例年より若干投稿数が増えていることが報告された。

3. 第34回学術集会依頼原稿論文状況について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、第34回学術集会の学会誌掲載依頼原稿寄稿状況を報告した。教育研修講演7・8・9・11およびシンポジウム内科1が2号に掲載されており、残りの原稿は3号に掲載することが報告された。

学術委員会

2023年度各部会中間報告

学術委員会委員長 理事 鳥居 俊は、健康スポーツ部会および競技スポーツ部会の中間活動報告を行った。公開シンポジウムは、今夏のオリンピック終了後の開催に向けてテーマの検討を行い、2023年度の開催は行わないことが報告された。

資格審査委員会

1. 准会員審査結果

資格審査委員会委員長 理事 中嶋 耕平は、2023年10月1日から2024年4月18日の期間で准会員資格審査の対象となった20件について報告した。全員合格であったことが報告された。

2. 准会員から正会員への資格申請 審査結果について

資格審査委員会委員長 理事 中嶋 耕平は、2月に准会員から正会員への申請が3

名あったことを報告し、確認した。順天堂大学 室伏由佳 准会員、国際武道大学 笠原政志 准会員、立教大学 吉田成仁 准会員について資格審査委員全員から承認を受けたため、理事へ意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

研究倫理委員会

委員会報告

研究倫理委員会委員長 理事 牧田 茂は、今年の学術集会の演題登録時に学会での現状の発表演題のカテゴリー分類、および学会での研究倫理審査の希望について調査を行っていることを報告した。また、学会主導の研究に対する倫理審査委員会の設置に向けて検討をしていることについても報告した。

広報委員会

委員会報告

広報委員会委員長 理事 藤谷 博人はメールマガジンの発行を年3~5回非定期にて配信していくことについて提案し、承認された。

国際委員会

委員会報告

国際委員会委員長 理事 小熊 祐子は、韓国 KSSM、米国 AMSSM とのトラベリングフェローを再開することにより、協力関係を進めていくこと、および欧州との関係構築に向けてデンマークとの交渉を行う予定であることを報告した。

教育研修委員会

委員会報告

教育研修委員会委員長 理事 大森 豪は、スポーツ医学現場見学・研修マッチングプログラムの運用状況について報告した。参加レポートの提出がほとんどないため、利用状況の把握が進んでいないことが報告され、利用促進のために第35回学術集会での Young Members' Meeting の企画で採用するなどの方策が示された。

また、医学部におけるスポーツ医学教育状況調査については、アンケート原案を作成中で、夏から秋にかけて実施することが報告された。

倫理・COI・将来構想委員会

委員会報告

倫理・COI・将来構想委員会委員長 理事 津下 一代は、個人情報管理に関する規約（会員の個人情報照会に関する取り扱い方針、および会員の個人情報に関する取り扱い指針の改訂案について提示し、学会ホームページに掲載することを含めて

承認された。

将来構想に関しては、Young Members' Meeting で第 35 回学術集会に向けてスポーツ医学現場見学・研修マッチングプログラムを取り上げること、男女共同参画推進検討小委員会での活動を進めていくことが報告された。

その他の報告事項

第 35 回学術集会進捗状況について

理事 大森 豪は、進捗状況について報告した。依頼・指定演題のプログラムが固まり、シンポジウム 25、教育研修講演 12、ランチョンセミナー7、市民公開講座が開催されることが報告された。

第 36 回学術集会 第 37 回学術集会予定について

理事 津下 一代は、第 36 回学術集会を 2025 年 11 月 2 日（日）、3 日（月・祝）の 2 日間、幕張メッセ 国際会議場において開催する旨を報告した。

続いて理事 鳥居 俊は、第 37 回学術集会を 2026 年 11 月 7 日（土）、8 日（日）の 2 日間、軽井沢プリンスホテルにおいて開催する旨を報告した。

次回の理事会日程の件

議長は、次回の理事会を学術集会前日の 11 月 15 日に行われる旨を述べた。

以上を以て、審議すべき予定につき全て了したので、議長は閉会を宣し、17 時 00 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し定款第 36 条第 2 項の規定により以下に記名押印する。

2024 年 5 月 18 日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

理事長 山澤 文裕

代表印

議長 副理事長 赤間 高雄

⑨

監事 小松 裕

⑨